



# 第六次 美浜町 総合振興計画

概要版

福井県  
美浜町

## 総合振興計画とは

総合振興計画は、中長期的な視点に立ち、町の将来像とまちづくりの基本方向を示すとともに、町政を総合的かつ計画的に運営するための指針となる、町政運営の最上位計画です。

美浜町(以下、本町という)では、「第五次美浜町総合振興計画」(以下、前計画という)に基づき、町民と行政が協働し、自然環境や地域資源を活かしたまちづくりを進めてきました。こうした取組を踏まえつつ、人口減少や社会環境の変化、安全・安心への関心の高まりなどの課題に対応するために、今後 10 年間のまちづくりと行財政運営の指針として、「第六次美浜町総合振興計画」(以下、本計画という)を策定するものです。

なお、本計画では、地方創生に関する施策についても本計画に包含し、総合戦略と一体的に策定・推進します。

## 計画の構成と期間

本計画は、「基本構想」・「基本計画」・「実施計画」により構成します。

計画期間は、基本構想を 10 年、基本計画を 5 年、実施計画を 3 年とします。

基本構想	町の将来像やまちづくりの基本的な方向性を示すもの
基本計画	基本構想を実現するための基本施策を分野別に体系的に示すもの
実施計画	基本計画に基づく具体的な事務事業等を示し、予算編成の指針となるもの



## 計画の策定体制

本計画は、町議会議員や各種団体代表等で構成する審議会をはじめ、策定委員会や検討会議において、町民及び町職員が参画し、各分野の施策について検討を重ね、原案を作成しました。

策定にあたっては、審議会で原案をとりまとめ、町長への答申を経て、町議会に諮り策定したものです。



※諮問:意見を尋ね求めること。

※答申:意見を申し述べること。

## 本町の課題

### 本町を取り巻く環境変化 (社会的潮流)

### まちづくりの課題

人口減少と少子高齢化の進行

#### 人口減少社会への適応と若年層・女性に選ばれる地域価値の創出

若年層・女性の流出抑制と応援人口の拡充を図り、人口減少に  
適応した選ばれるまちづくりが求められます。



安全・安心への意識の高まり

#### 激甚化する災害とリスクに備えた安全基盤の確立

激甚化する災害に備え、複合災害の対応やデジタル活用を含む  
防災・防犯体制の強化と基盤整備が求められます。



環境問題・エネルギー政策の  
重要性の高まり

#### 脱炭素社会の実現と自然資本を活用した環境経済の好循環

自然資本を活かし、脱炭素と環境価値のブランド化を通じて、地域愛  
と経済が好循環するまちづくりを進める必要があります。



子育て支援・教育の充実

#### 多層的な地域包括ケアと誰一人取り残さない相談支援体制の深化

医療・介護・福祉を連携し、予防と重層的支援を進め、地域で支え合う  
福祉コミュニティの形成が求められます。



経済・雇用環境の変化

#### 地域資源の高付加価値化と DX※による産業・雇用の再生

農林水産業・観光の高付加価値化と DX、起業支援により、若者・移住  
者の活躍の場を創出する必要があります。



協働のまちづくりの  
必要性の高まり

#### 多様な主体が参画する、互いに支え合う新たな協働の仕組みの構築

自治会負担を軽減し、若者や移住者、企業など多様な主体が参画す  
る自律的な地域運営の仕組みづくりが求められます。



持続可能な社会の  
実現に向けた取組

#### 持続可能な都市整備と公共交通ネットワークの再構築

施設の集約・効率化と次世代モビリティの導入により、持続可能な  
都市整備と公共交通ネットワークの再構築の必要があります。



デジタル化の進展

#### DXの徹底活用と将来リスクに備える持続可能な行財政運営

人口減少による財政制約に対応し、DXで業務効率化と人材集中を  
図り、持続可能な行財政運営を確立する必要があります。



## 目標人口

本町では、令和3(2021)年に策定した人口ビジョンにおける将来人口を上回るペースで人口減少が進んでいることから、目標人口を見直し、令和22(2040)年に7,500人を維持することとします。

あわせて、総人口だけでなく、生産年齢人口や年少人口の構造を重視し、地域を支える人材の確保・育成に向けた施策を展開します。

● 目標人口 ●

令和22(2040)年

7,500人



※DX:「Digital Transformation」の略称。デジタル技術で人々の生活をより良いものに変革すること。

## まちの将来像

前計画で掲げた将来像「みんなで <sup>つく</sup> 創り <sup>つな</sup> 絆ぎ <sup>つど</sup> 集う <sup>うま</sup> 美し美浜」には、美しい自然や豊かな食、文化や伝統、そして温かな人の心といった、美浜独自の宝を大切に守り育てていこうとする思いが込められていました。人口減少や少子高齢化、ライフスタイルの多様化が進む中であっても、「ひと」を中心に絆を力としてまちづくりを進めるという基本姿勢は、本町の変わらぬ原点です。

本計画では、この「美し美浜」の精神と誇りを基盤に、住民一人ひとりが幸せを実感し、学びや仕事を通じて挑戦できる環境を整えるとともに、多様な主体が交わり新たな価値を共創するまちを目指します。

先人たちが築いてきた有形無形の資産を次世代へと引き継ぐ決意のもと、本計画が目指す将来像を次のとおり定めます。

### まちの将来像

## ひと育み 未来に挑む 共創のまち

～継承、進化する <sup>うま</sup> 美し美浜～

## まちづくりの指針

将来像「ひと育み 未来に挑む 共創のまち ～継承、進化する <sup>うま</sup> 美し美浜～」の実現に向け、町の強みを最大化しながら町が直面する課題を柔軟かつ戦略的に解決するための行動原則として、次の3つの指針を定めます。これらは相互に作用し合い、好循環を生み出す「まちづくりのエンジン」となるものです。

### 1 未来志向の「人づくり」

地域への深い愛着と誇り(地域愛)を醸成し、変化を恐れず主体的に行動する「ひと」を育みます。すべてのまちづくりの起点は「ひと」であり、多様な学びと経験を通じて、美浜の未来を担い、切り拓く人材を創出します。



### 2 活躍と交流の「場づくり」

若者や女性、高齢者など誰もが輝ける魅力的な仕事や活動のフィールドを整備します。また、応援クルーなど外部の力を積極的に巻き込み、多様な人々が交わり響き合うことで、新たな価値が生まれる「場」を創出します。



### 3 持続可能な「しあわせの基盤づくり」

まちの歴史・文化や豊かな自然環境を守り継承しつつ、デジタル技術や防災機能の強化により、誰もが安全・安心に暮らせる持続可能な生活基盤を盤石なものにします。心身の健康と快適な生活環境(ウェルビーイング※)こそが、挑戦と共創を支える揺るぎない土台となります。



<sup>うま</sup>  
「美し美浜」の精神と誇り・美浜らしさ

※ウェルビーイング:心身ともに満たされ、自分らしく幸せに生きている状態のこと。

## 基本目標

本計画の将来像である「ひと育み 未来に挑む 共創のまち ～継承、進化する 美しく美浜～」を実現するため、次に掲げる6つの基本目標を柱として、総合的・計画的にまちづくりを進めます。

### 基本目標1 学びで「未来」をひらく まち <分野> 教育、文化

学校・家庭・地域が連携した学びを通じて一人ひとりの可能性を伸ばします。

また、郷土への誇りや伝統文化を継承する中で地域への愛着(地域愛)を育み、未来を切り拓く「人づくり」を目指します。

主要  
施策

1. 豊かな人生を育む学びの推進
2. 主体性を育む学校教育の推進
3. 歴史・文化を未来へ繋ぐ学びの推進



### 基本目標2 健やかで「つながり」暮らせる まち <分野> 保健、福祉、医療

健康寿命の延伸や地域包括ケアシステムの深化、町民総ぐるみの健康づくり・介護予防を推進し、元気な高齢者が地域で活躍できる仕組みを構築します。

あわせて、切れ目のない子育て支援を充実させ、子育て世代が安心して暮らせる環境を整えます。

主要  
施策

1. 地域福祉の推進
2. こども・子育て支援の充実
3. 高齢者福祉・障がい者福祉の充実
4. 健康づくりの啓発と推進
5. 地域医療対策の推進
6. 医療保険事業の適正な運営



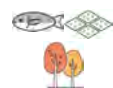
### 基本目標3 新たな価値を創造し「にぎわい」を育む まち <分野> 産業、雇用

新幹線時代やデジタル化による変化を捉え、ブランド化や高付加価値化など本町の資源を活かした観光・産業振興を進め、「稼ぐ力」の向上とまちのにぎわいを創出します。

また、若者・女性の就業・起業を支援するとともに、多様な働き方や新たな「しごと」の創出を進めます。

主要  
施策

1. 農業の振興
2. 林業の振興
3. 水産業の振興
4. 商工業の振興
5. 観光の振興
6. 産業振興によるにぎわい創出
7. エネルギー施策と地域振興



### 基本目標4 自然と「調和」する心やすらぐ まち <分野> 環境、都市計画、エネルギー

本町の豊かな自然環境を次世代へ継承するとともに、ゼロカーボンや循環型社会の実現に向けて取り組みます。

また、計画的な土地利用や快適な住環境整備を進めます。

主要  
施策

1. 自然環境の保全とGX※の推進
2. 快適な都市整備と交通体系の充実



### 基本目標5 共に「創る」安全安心な まち <分野> 都市基盤、防災、交通安全

地域防災力向上や災害に強いインフラ整備等を通じ、誰もが安心して暮らせる地域をつくります。

また、デジタルを活用した分かりやすい情報提供に努める中で、防災意識の向上を図ります。

主要  
施策

1. 減災・防災対策の推進
2. 水道・下水道の整備
3. 町土保全対策の推進
4. 交通安全・防犯・消費者保護対策の推進
5. 原子力安全確保対策の強化



### 基本目標6 ひとが繋がりに未来に「挑む」まち <分野> 人権、地域コミュニティ、行財政運営

人権尊重や男女共同参画、国際交流を通じて多様性を認め合う社会を形成するとともに、「応援人口(関係人口)※」の拡充を図ります。

また、行政や町民、企業、応援クルー等との共創により地域課題解決を進め、持続可能で健全な行財政運営を実現します。

主要  
施策

1. 多様性を尊重する人権教育・啓発の推進
2. デジタル化の推進
3. 地域愛に満ちたコミュニティの充実
4. 「応援人口」と共に創るまちづくり
5. 健全な行財政運営の推進



※GX:「Green Transformation」の略称。化石エネルギーに依存している経済・社会・産業の構造を、非化石エネルギー中心の構造に移行させる変革のこと。

※応援人口(関係人口):移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと。

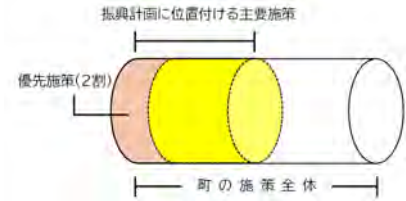
## 優先施策

人口減少と社会構造が大きく変化する中、本計画では「パレートの法則※」に基づき、全施策の約2割に当たる「優先施策」に、限りある行政資源（予算・人員・時間）を集中的に配分することを基本戦略とします。

これらの優先施策は、本町の＜強み＞を活かしつつ、「デジタル変革(DX)」や「脱炭素(GX)」といった＜社会の潮流＞と掛け合わせることで、「若者の流出」や「担い手不足」といった課題の克服を目指すものです。

中長期的な観点から「社会的ニーズ」「緊急性」「効果」が特に高い21施策を選定し、前期5年間でこれらに集中投資することで、町の持続可能な発展と町民のしあわせ実感(ウェルビーイング)の向上を図ります。

また、優先施策は3つの「まちづくりの指針」に基づきながら、将来像実現に直結する4つのキーワード(学びをエンジンとした挑戦、稼ぐ力の強化と共創のシナプス、命を守る強靱化、暮らしの質の最適化)を基に整理しています。



### まちづくりの指針① 未来志向の「人づくり」

施策に係る  
キーワード

1

#### 学びをエンジンとした挑戦

本町の原点である「生涯学習」を、未来を切り拓き地域課題を解決するための「挑戦のエンジン」へと進化させます。外部からの人材獲得競争に頼るだけでなく、地域内で次世代の担い手を継続的に育てる仕組みを最優先事項とします。

##### 基本目標1-1-(5) 「みはまシナプスプロジェクト」による共創型人材育成の推進

- ① 学びを糧に挑戦し、未来を拓く人材を育成します。また、放課後教室サン等を通じ、次世代の担い手を地域で育む体制を築きます。

##### 基本目標1-2-(4) 地域とともにつくる魅力ある学校づくり

- ③ 地域への愛着を深めるとともに、将来を主体的に考える力を育むため、ふるさと学習やキャリア教育を充実させます。

##### 基本目標6-3-(1) 主体的なまちづくりへの参画

- ② 子どもや若者、女性の参画を促し多様なニーズを反映することで、若者や女性に選ばれるまちづくりを推進します。

優先  
施策

### まちづくりの指針② 活躍と交流の「場づくり」

施策に係る  
キーワード

2

#### 稼ぐ力の強化と共創のシナプス

若者や女性が「しごと」を理由に転出する現状を打破するため、既存産業にデジタルや付加価値を掛け合わせ、多様な人々がつながり響き合う交流の舞台(シナプス)を創出します。

##### 基本目標3-1-(2) 未来に絆ぐ安定した経営体づくり

- ① スマート農業と販路開拓で経営を効率化・高収益化し、若者や新規就農者が挑戦し活躍できる魅力ある農業を確立します。

##### 基本目標3-3-(2) 水産資源の高付加価値化とブランド戦略の推進

- ② 優れた鮮度保持・加工技術による高付加価値化を支援し、温暖化による不漁時でも安定収益を得られる構造を構築します。

##### 基本目標3-5-(2) 地域経済の活性化

- ② 特産品や体験商品の開発・造成、飲食・宿泊施設の充実、広域連携による魅力発信を強化し、周遊滞在型観光への転換により観光消費を拡大します。

##### 基本目標3-6-(2) 経済活性化と滞在価値の最大化

- ① にぎわいゾーン(JR美浜駅～なびあす)に商業・サービス機能を集約するとともに、イベントや仕掛けで消費を促し「稼げるエリア」へと価値を高めます。

##### 基本目標6-4-(2) 「みはまシナプスプロジェクト」を通じた共創の仕組みづくり

- ① 官民や応援クルーとの共創を強化し、各々の知見を地域課題の解決につなぐマッチング体制で未来への挑戦を支えます。

優先  
施策

施策に係る  
キーワード

3

## 命を守る強靱化

激甚化する自然災害や原子力特有のリスクから、町民や来訪者の命と財産を確実に守り抜くため、最優先で取り組むべき安全の基盤です。

優先  
施策

### 基本目標 5-1-(1) デジタル技術を活用した災害情報収集・発信

- ① 自然災害から命を守るため、デジタル技術で迅速かつ多言語による情報発信と安全な暮らしを確立します。

### 基本目標 5-1-(2) 地域防災力の向上

- ② 自助・共助を軸に自主防災組織の設立と活動の活性化、防災人材の育成を推進し、地域コミュニティの共助力の最大化に努めます。

### 基本目標 5-2-(1) 災害に強い上下水道施設の構築と発災時の体制強化

- ① 耐震化や計画的な更新により上下水道のインフラを強化し、将来にわたり安全・安心な生活基盤を維持します。

### 基本目標 5-3-(4) 主要幹線道路の整備

- ① 複合災害に備え、主要幹線道を「命の道」として整備・維持します。また、舞鶴若狭自動車道の4車線化や新庄～滋賀県高島市間道路の早期実現等、国・県と連携し緊急輸送網を確立します。

### 基本目標 5-5-(2) 安全確保体制の強化

- ② 関係機関と連携し、原子力の安全確保を最優先とした実効性の高い原子力防災体制と町民の安全・安心の確保に努めます。

施策に係る  
キーワード

4

## 暮らしの質の最適化

人口減少下でも、全町民が健やかに、自分らしく、そして利便性を享受して暮らし続けられる「しあわせ」の質を担保するための施策です。

優先  
施策

### 基本目標 2-1-(1) 地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進

- ② 地域で孤立を防ぐ交流の場を広げ、支え合いと生きがいを育み、誰もが幸せを実感できる地域共生社会を築きます。

### 基本目標 2-2-(4) 若い世代の仕事と子育ての両立を支える社会づくりの推進

- ② 保育サービスや放課後児童クラブを充実させ、仕事と子育ての両立を支援し、若い世代が安心して自分らしい生活を送れる環境を整備します。

### 基本目標 2-3-(1) 地域包括ケアシステムの深化・推進

- ② 住民主体の介護予防や健康づくりを推進し、元気な高齢者が地域の担い手として活躍・交流できる場を充実させ、社会参加を通じた交流を促進します。

### 基本目標 2-4-(1) 町民自身が取り組む健康づくり

- ① 「げんげん運動プラス UP※」の推進により生活習慣病を予防し、心身ともに健やかに暮らせる「しあわせの基盤」を築きます。

### 基本目標 2-5-(2) 地域医療の充実

- ③ 嶺南地域の医療格差を是正するため、医療機能の高度化や体制再構築を関係機関へ要望していきます。

### 基本目標 4-2-(2) 公共交通ネットワークの確保と利便性向上

- ① 事業者等と連携し、バスや鉄道等のあり方を検討するとともに、効果的で持続可能な公共交通ネットワークを構築します。

### 基本目標 4-2-(3) 良質な住環境づくり

- ① スマートタウンや小規模分譲地を整備し、最新技術と良質な住環境を両立するとともに、地元で住み続けられる選択肢を広げます。

### 基本目標 6-2-(2) 誰もが恩恵を享受できるDXの推進

- ② 高齢者等への支援で情報格差を解消し、誰もがデジタルの恩恵を享受できる「誰一人取り残さない」社会を築きます。

※パレートの法則：全体の成果の 80%が、少数(約 20%)の重要な施策からもたらされるという考えのこと。重要な施策にリソースを集中させることで効果的・効率的な行政運営が可能となる。

※げんげん運動プラス UP：適正な塩分摂取をすること(減塩)と適切なエネルギー摂取をすること(減量)を2本柱とした「げんげん運動」を継続するとともに、「糖質」の適正摂取を切り口に減量を強化した取組のこと。

# 第六次美浜町総合振興計画

## 概要版

計画期間： 令和8(2026)年度～令和17(2035)年度  
令和8(2026)年3月発行

発行： 美浜町まちづくり推進課  
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市 25-25

T E L: 0770-32-1111

F A X: 0770-32-1115

ホームページ: <http://www.town.fukui-mihama.lg.jp>